

公認会計士の通信講座・予備校おすすめランキング8選 評価ガイドライン

発行日:2026年3月27日

発行元:各種通信講座 - 株式会社キャリア・ブレーション 比較・検証編集部

1. 本ランキングの目的と基本方針

本ガイドラインは、公認会計士試験の通信講座・予備校8社を対象としたランキング記事における選定基準および評価方法を定めたものです。

公認会計士試験は合格率約10%、必要学習時間3,000~5,000時間とされる国内最難関の国家資格試験の一つです。受講料は10万円台から80万円超まで幅広く、教育訓練給付金や各種割引制度の有無によって実質負担額が大きく異なります。本ランキングでは、通信講座での学習を検討している受験生の視点から、以下の基本方針に基づき評価を行いました。

基本方針

- 公式サイトに掲載された情報を一次情報として採用し、外部ソースは補助情報として扱う
- 通信講座 (Web通信・eラーニング) としての利便性を重視する
- 受講料は税込価格で統一し、キャンペーン価格・給付金適用後の実質負担も考慮する
- 合格実績は公表データの透明性 (算出方法・母数の定義) を重視する
- 口コミ・評判は公式合格体験記、X (エックス)、みん評等のソースから収集する

2. 評価項目と配点

総合評価は以下の5軸各20点、合計100点満点で算出します。各軸は均等配点とし、特定の軸に偏重しない設計としています。

評価軸	配点	評価の観点
(1) 教材・講義の質	20点	講義動画の体系的性・教材のクオリティ・デジタル対応・AI機能の有無
(2) 学習カリキュラム	20点	コースラインナップ・学習設計・答練/模試・延長制度・科目選択の柔軟性
(3) 受講料 (コスパ)	20点	受講料の絶対額・割引制度・給付金対象・合格特典を含む実質負担額
(4) 合格実績	20点	合格率・合格者数の公表状況・算出方法の透明性・間接指標の有無
(5) サポート体制	20点	質問対応 (回数・手段)・添削・担任制・自習室・カウンセリング・就職支援
総合評価	100点	5軸の合計

3. 評価基準の詳細スコアリング

(1) 教材・講義の質 (20点満点)

スコア	採点基準詳細
19~20	専門講師による体系的な講義動画 (10時間以上) + フルカラー/オリジナルテキスト + スマホアプリ・eラーニングシステム完備。オフライン学習・倍速再生等の機能も
17~18	講義動画あり (7時間以上) + 良質なテキスト教材 + スマホeラーニング対応。大手予備校レベルの教材品質で学習に必要な教材が高水準で揃っている
15~16	講義動画あり (5時間以上) + テキスト教材 + Web視聴・スマホ対応。一定の教材水準を満たしているが、先進機能やフルカラー対応等で上位と差がある
12~14	テキスト中心の教材構成で映像講義が限定的、またはテキスト自体は体系的だが補助教材・デジタル対応が弱い
9~11	テキスト中心で映像講義なし or 最小限。教材の量・種類が限定的で独学力が求められる
7~8	最小限の教材構成 (音声CD・簡素なテキスト等)。体系的な教材設計に欠ける

(2) 学習カリキュラム (20点満点)

スコア	採点基準詳細
19~20	明確な学習ロードマップと進捗管理機能 + 過去問・模擬試験・添削が充実 + 受講期間の延長制度あり + 初学者~上級者まで対応するコースラインナップ。合格まで付
17~18	体系的なカリキュラム + 添削・問題演習が充実 + 柔軟な学習期間。コース数が豊富で高い学習効果が見込める構成
15~16	体系的なカリキュラム + 問題演習・学習管理機能あり。自走力があれば十分に合格を目指すのが、コースの幅やオプションに制限がある
12~14	基本的なカリキュラム + 添削指導 or 問題演習あり。標準的な学習体制だが体系的な柔軟性にやや欠ける
9~11	テキスト自学自習型でカリキュラムが簡素。学習の道筋が限定的で学習計画は自己管理が前提
7~8	教材購入型で明確なカリキュラムなし。学習計画は完全に自己管理

(3) 受講料・コスパ (20点満点)

スコア	採点基準詳細
19~20	実質負担が極めて低い。月額1,500円未満の定額制 / 基本料金2万円未満 / 合格時全額返金で実質0円の可能性あり。価格に対する講座内容の充実度が非常に高い
17~18	基本料金5万円台以下の本格講座、または給付金・合格祝い金を含めた実質負担が3万円前後。コスパに優れる
15~16	基本料金6万~10万円台。給付金対象であれば実質負担が軽減される。講座内容に見合った価格設定
12~14	基本料金10万~15万円台。大手予備校の標準的価格帯。給付金適用で実質負担を軽減できるケースあり
9~11	基本料金15万~25万円台。講座の質は高いが受講料負担が大きい
7~8	基本料金25万円以上。講座内容に対して割高感がある、または高額にもかかわらず特典・補助制度が限定的

公認会計士講座固有の補足: 公認会計士試験は学習期間2~3年・科目数7科目以上を要するため、講座の基本料金は他資格と比較して高額 (10万~85万円) となる傾向があります。コスパ評価では絶対額に加え、割引制度・給付金・合格特典を含む実質負担額、および講座内容の充実度を総合的に考慮しています。

(4) 合格実績 (20点満点)

スコア	採点基準詳細
19~20	合格率を具体的数値で公表し全国平均の4倍以上。合格者数も明示。透明性が高く客観的に検証可能な実績
17~18	合格率を公表 (全国平均の3倍以上) または年間合格者数500名以上を明示。大手予備校として高い実績を公開
15~16	合格率公表 (全国平均の2倍以上) または年間合格者数を公表。一定の透明性がある
12~14	合格率非公表だが、合格者の声や累計実績等の間接的な情報で実績を示している。大手予備校ブランドとしての信頼あり
9~11	合格率非公表。合格者数の断片的な情報のみ。または「全国平均のX倍」等の相対指標のみ
7~8	合格実績に関する情報がほぼ公開されていない

(5) サポート体制 (20点満点)

スコア	採点基準詳細
19~20	質問対応が充実 (無制限 or 50回以上) + 添削・カウンセリング + 合格保証 (返金 or 延長) + オンライン自習室等の学習環境。通信講座でありながら予備校並みのサポート
17~18	質問対応が手厚い (無制限 or 30回以上) + 添削 or 合格保証制度あり + 通学切替可能。受講者支援が充実
15~16	質問対応あり (10回以上) + 不合格時サポート延長やeラーニング内質問等の保証制度あり。標準以上のサポート
12~14	質問対応あり (回数制限あり) + 添削指導あり。標準的なサポート体制
9~11	質問対応あり (極めて限定的) または最低限のサポートのみ。添削等の個別指導なし
7~8	サポートがほぼ提供されていない (教材販売のみ)

4. 全8社の総合評価一覧表

順位	講座名	総合評価	(1) 教材・講義の質	(2) 学習カリキュラム	(3) 受講料	(4) 合格実績	(5) サポート体制
1位	CPA会計学院	92点	19	19	14	20	20
2位	クリアール	86点	18	18	16	14	20
3位	スタディング	81点	19	17	19	8	18
4位	資格の大原	79点	17	17	13	15	17
5位	LEC東京リーガルマインド	76点	17	17	14	10	18
6位	TAC	73点	17	17	8	16	15
7位	資格試験のFIN	68点	16	15	16	8	13
8位	ICOライセンススクール	64点	13	13	9	11	18

5. 各社スコア内訳と評価理由

1位: CPA会計学院 (総合 92点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	19/20	常勤講師によるオリジナルテキストは論点ごとにA/B/Cの重要性を明記し、効率的な学習を可能にしている。Webテキストは全テキスト一括検索・メモ・付箋・ラインマーカー機能を搭載。PDF教材のダウンロードに対応し、Web講義はライブ授業の翌日から倍速視聴が可能。受講生数が多いことで教材が継続的に改善される好循環が生まれている。AI機能は未搭載のため19点とした
(2) 学習カリキュラム	19/20	初学者向け8コース(1年～2年、高校生専用含む)+受験経験者向け7コース+修了審査・司法試験合格者コースまで網羅。通学・通信・併用の3受講形態に対応し、通信生向けスクーリング制度(講義40回・答練20回出席可)と1年無料延長制度を完備。論文式科目合格者への科目免除による受講料減額制度もある。ただし通信専用に設計されたカリキュラムではなく、通学と共通の設計がベースとなっている
(3) 受講料(コスバ)	14/20	初学者向け通信講座は730,000円～870,000円で、公認会計士講座としては大手の標準的な価格帯。CPA奨学生応援制度(事務手数料25,000円で受講開始、残りは月額10,000円以上の分割)により経済的事情のある方も受講可能。合格者返金制度(受験経験者コース対象)、前期・後期の2回分割払い、他校受講経験者割引など負担軽減策が複数ある。教育訓練給付金は対象外
(4) 合格実績	20/20	2025年公認会計士試験で合格者1,092名、合格率占有率66.7%(全体合格者1,636名中)を達成。全国総合成績1位～5位がCPA会計学院の受講生。算出方法も「2025年合格目標の初学者または再受験者対象のCPA本科コースを受講した方のうち論文式試験に合格された方」と明確に定義されており、透明性が極めて高い
(5) サポート体制	20/20	質問回数無制限で対面(校舎開校時間内)・電話(フリーダイヤル、平日土曜10:00～20:00、日曜10:00～18:00)・メール(原則翌日回答)・CPAバーチャル校(オンライン質問)の4チャンネルに対応。合格者チューターが常駐し個別の学習相談が可能。校舎5か所+ラウンジ10か所+全国47都道府県の提携自習室を展開。グループ会社CPASSキャリアによる就職・転職支援も提供
総合	92/100	合格率占有率66.7%という圧倒的な合格実績と、質問無制限・チューター常駐・全国自習室網という手厚いサポート体制が最大の強み。教材・カリキュラムも高水準だが、AI機能が未搭載であること、通信専用設計ではなく通学ベースの設計であることから満点には至らなかった。受講料は73万円～と高額だが、奨学生制度・合格者返金制度による負担軽減策があり、合格実績を考慮した投資対効果は全8社中最高水準

2位: クレアール (総合 86点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	18/20	通信専門学校としてWeb動画講義(1コマ30分のスキマ時間最適化設計)とVラーニングシステムを提供。テキストは製本版+PDF版を標準装備し、問題集・答練・公開模試が付属。独自の「非常識合格法」(累計8万部の書籍)に基づき合格必要範囲に絞った教材設計で、大手予備校レベルの教材が高水準で揃っている。スマートフォン対応Web通信にも対応
(2) 学習カリキュラム	18/20	初学者向けは1.5年～5年までの多様な受講期間に対応し、簿記レベル別(未修者・3級・2級・1級修了者)の細分化された価格設定。セーフティコース/トータルセーフティコースでは最終目標年度まで受講可能で短答を最大3～7回受験できる長期保証型設計。上級者向けコースも充実し、提出答案は全て採点・返却される。ただしAIによる進捗管理機能やスクーリング制度はなく、通信完結型ゆえに対面での答練受験環境は提供されていない
(3) 受講料(コスバ)	16/20	一般価格は初学者向け450,000円～820,000円だが、毎月のキャンペーンで23%～45%OFFが常時適用され実質300,000円～400,000円台で受講可能。インターネット特待生試験(無料)で最大70%OFFの大幅割引も利用できる。一般教育訓練給付金対象コースがあり20%(上限10万円)の給付を受けられる。属性別割引(公的機関・金融機関・経理担当者等)も多用途用意されている
(4) 合格実績	14/20	合格率・合格者数は非公表だが、間接的な実績情報が豊富。公式サイトに「会社員合格率55%」との記載があり(算出方法は不明、合格者の54.2%が社会人という内部データも公開。合格お祝い金制度(短答7万円+論文18万円=合計25万円)の存在自体が継続的な合格者輩出を裏付ける。令和6年度合格者の体験記が多数掲載されており、1998年創立から27年の運営実績と「非常識合格法」書籍の実売8万部が信頼性の根拠
(5) サポート体制	20/20	質問は電話・メール・インターネット通話で回数無制限、毎日対応。専任スタッフ3名による担任制度(追加費用なし)で個別の学習相談に対応。提出答案は全て採点・返却(回数制限なし)。月1回の学習ガイダンス動画配信、個人成績表・偏差値付き公開模試成績表で進捗を可視化。HDI格付けで二部門「三つ星」を獲得している
総合	86/100	通信専門学校として質問無制限・担任制・全答練添削の予備校並みサポートと、セーフティコースによる長期保証型カリキュラムが大きな強み。キャンペーン割引や特待生制度で実質負担を大幅に抑えられるコスバの良さも高評価。カリキュラムは高水準だが、AI進捗管理やスクーリングがない点が満点には至らず。合格率・合格者数の直接公表がない点が課題だが、間接証拠は12-13点基準を上回る量と質で揃っている

3位: スタディング (総合 81点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	19/20	AI機能群を搭載: AIマスター先生(生成AIによる即時解説・対話形式)、AI問題復習(忘却曲線ベースの自動出題)、AI学習プランウィズ(個別学習計画自動作成)、AI学習ナビ(AIコーチによるモチベーション支援)。専門スタジオ収録の動画講義は1動画5分～の細切れ構成で通常・1.5倍・2倍速に対応。iOS/Androidアプリ完備でスマートフォン特化設計。ただしWEBテキストが中心で冊子版は別途オプション(90,000円)、オフライン学習はアプリ経由に限定される
(2) 学習カリキュラム	17/20	簿記入門から短答式・論文式まで一貫した体系的学習フロー(入門→基礎→問題集→実力テスト→直前答練)を提供。AI学習プランによる個別カリキュラム自動作成と、AI問題復習による忘却曲線ベースの自動出題で、実質的にパーソナライズされた学習体験を実現。ただしコースは2種類(2028年/2027年合格パック)のみで、論文式選択科目は経営学のみに対応。会場型模試の提供もない
(3) 受講料(コスバ)	19/20	キャンペーン価格79,840円～194,800円は公認会計士講座として圧倒的な最安水準。通常価格でも124,800円～194,800円。各種20%OFF割引(学割・受験経験者割・乗り換え割・関連資格合格者割)を利用可能。合格お祝い金30,000円(短答10,000円+論文20,000円)を差し引くと実質約50,000円から受講でき、AI機能4種搭載の本格講座としての価格対充実度は極めて高い

評価項目	スコア	評価根拠
(4) 合格実績	8/20	公認会計士講座は2025年3月に新規開講したばかりで、合格実績データは存在しない。スタディング全体としてのコスパ満足度95.5% (2023年アンケート、n=555) を間接指標として掲載しているが、公認会計士講座固有の合格データではない
(5) サポート体制	18/20	Q&Aチケット50枚が付属し(1質問1チケット消費)、30枚以上の基準を大きく超える。過去Q&Aは全件チケット不要で閲覧可能。AI学習ナビによるコーチング機能、AI問題復習による自動フィードバック、記述対策ツールによる論文演習環境が実質的なサポートとして機能。勉強仲間SNSによるコミュニティ支援もある
総合	81/100	4種のAI機能と79,840円〜という圧倒的な低価格が最大の強み。AI学習プランによる個別カリキュラムとAI問題復習による自動フィードバックで、従来型の添削・質問対応を一部代替している。教材はAI機能で高水準だが冊子版テキストが別売のためデジタル学習に抵抗がある層には不向き。公認会計士講座は開講から日が浅く合格実績が未確立であるため実績重視の受験生にはリスクを伴うが、コスパとデジタル学習環境を最優先する層には最有力候補

4位: 資格の大原 (総合 79点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	17/20	教室通学・映像通学・Web通信・DVD通信の4受講形態に対応。講義は180分を100分未満に凝縮し約10分チャプター単位で学習可能。常勤講師作成のオリジナルテキストにデジタル教材(マーカー・書き込み対応)を搭載。選択科目は経営学・経済学・民法・統計学の4科目に対応し他社より選択肢が多い。ただしAI機能は未搭載
(2) 学習カリキュラム	17/20	2年初学者合格コース(全412回講義)・Wチャンスコース・1.5年スタンダード・上級フルバック等を展開。Wチャンスコースでは不合格時に上級コース教材無料提供+翌年目標コースへのスライド制度があり、不合格リスクに対する保証が手厚い。専門学校2年制・3年制コースとの接続も可能
(3) 受講料(コスパ)	13/20	初学者向けは740,000円〜820,000円(入学金6,000円別途)で大手予備校の標準的な価格帯。専門実践教育訓練給付金対象コースがあり最大70%給付(上限128万円)を受けられるため、条件を満たす場合は実質負担234,000円程度まで軽減可能。一般教育訓練給付金(20%、上限10万円)対象コースもある。キャンペーンとして30,000円OFF(Wチャンス)・入学金免除等が随時実施されている
(4) 合格実績	15/20	合格者数を公表しており、2024年は247名(社会人201名+専門課程46名)、2025年は181名。全体合格者1,603名(2024年)中の約15.4%に相当する。算出方法は「合格に必要な全科目を受講し最終合格した者のみカウント(公開模試・出版物のみ購入者は除外)」と定義されており透明性は比較的高い。ただし合格率(パーセント)は非公表
(5) サポート体制	17/20	常勤講師によるオンライン相談室で質問に対応。通信生でも全国の大原各校の自習室を無料利用可能で、Mobil-O-Haraアプリで空席確認ができる。オンライン自習室もWeb通信コースに付属。Wチャンスコースの不合格時無料進級は合格保証に該当し、映像通学への受講形態切替にも対応。就職サポートも提供
総合	79/100	全国34都市以上に展開する校舎ネットワークと選択科目4種対応のカリキュラム、教育訓練給付金(最大70%)による大幅な費用軽減が強み。合格者数を透明性の高い算出方法で公表し、Wチャンスで不合格保証も評価できる。通信専用サポート設計ではクレアールやLECにやや劣るが、通学・通信を柔軟に組み合わせたい受験生には有力な選択肢

5位: LEC東京リーガルマインド (総合 76点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	17/20	渋谷駅前本校でのライブ授業(梅田・岡山・名古屋に同時中継)とWeb通信講義を提供。1回あたり約3時間の講義で、紙テキスト+PDF電子版(無料ダウンロード)を標準装備。Web講義はVODBOX使用で動画ダウンロード対応(スマホ1日10件・3回まで)。ただしAI機能は未搭載で、選択科目は経営学のみに対応
(2) 学習カリキュラム	17/20	短答コースと論文コースを分離購入できる独自の「段階購入方式」が最大の特徴。短答合格コース298,000円→合格後にLEC奨学生価格50,000円で論文コース受講可能で、最終合格まで最安348,000円のルートが存在する。短答不合格時も短答・論文合格コースを220,000円(コース受講生価格)で継続できる設計。経験者向けバックも充実
(3) 受講料(コスパ)	14/20	段階購入で最終合格まで最安348,000円は大手予備校の中で突出した低価格ルート。短答合格コース298,000円(通信Web)が初学者の標準。30%再受講割引(LEC受講生・他校受講生とも)、Web奨学生試験で最大30%割引クーポン、簿記検定受験生割引等の割引制度が豊富。合格お祝い金50,000円+合格者受講料返還制度も用意。教育訓練給付金は対象外
(4) 合格実績	10/20	合格率・合格者数ともに非公表。受講生満足度97%(2025年短答合格コース春生アンケート)、選んだ理由No.1がコストパフォーマンスというアンケート結果を代替指標として公開。合格体験記の掲載と答練・模試の的中実績ページは存在するが、客観的な合格データの開示には至っていない
(5) サポート体制	18/20	「教えてチューター」は24時間メール受付・回数制限なしの質問対応。科目別に5名の担当講師へLINEで直接質問が可能(通信講座では希少な仕組み)。電話・対面・Zoomによる1対1個別相談(事前予約制)も利用できる。8万円以上の申込者はLEC各本校の自習室を無料利用可能。監査法人就職説明会・オフィスツアーも開催
総合	76/100	段階購入方式による最安348,000円ルートと、24時間無制限の質問対応+LINE直問という通信生に最適化されたサポート設計が大きな強み。合格実績が非公表である点がスコアを押し下げているが、コスパとサポートを重視する受験生には有力な選択肢

6位: TAC (総合 73点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	17/20	教室通学・ビデオブース・Web通信・DVD通信・オンラインLIVE通信(Schoo Swing)の5受講形態を提供。通学・通信で講義・教材・カリキュラムは同一。デジタル教材(PDF/GoodNotes対応)と全コース標準装備のWebフォロー(高速再生・アプリダウンロード対応)を搭載。関東・関西の講師W配信で好みの講師を選択できるのは独自の利点。AI機能は未搭載

評価項目	スコア	評価根拠
(2) 学習カリキュラム	17/20	2年L本科生・フルコミットL/S本科生・短期集中・高校生向け・上級各種と豊富なコースラインナップ。フルコミットL本科生は2027年不合格時に2028年目標コースを追加料金なしで継続できる延長保証制度付き。通信生向けスクーリング(入門基礎期20回・上級期20回)で教室講義にも出席可能。答練は短答・論文合わせて約86回+全国公開模試4回
(3) 受講料(コスバ)	8/20	初学者向けは620,000円(高校生向け)〜850,000円(フルコミットL)に入会金10,000円が別途必要で、公認会計士講座の中でも最高価格帯。教育訓練給付金・リスクリング補助金ともに対象外。春割キャンペーン(2〜3万円OFF)や奨学生選抜試験(最大19万円割引)はあるが、基本料金の高さを補うには不十分。合格返金制度と繰上げ校舎祝賀金15万円は合格者限定の特典
(4) 合格実績	16/20	2025年合格者313名、累計合格者10,397名(2006〜2025年、業界初の1万人突破)。カリキュラム修了者の合格率80.5%(2025年、第2回論文式全国公開模試D判定以上受験者292名中235名合格)を公表。算出方法の定義も明記されており透明性は高い。ただし条件付き(D判定以上修了者のみ)の合格率であり、全受講者ベースの合格率は不明
(5) サポート体制	15/20	全国主要22校に質問・相談コーナーを設置し合格者講師が対面またはZoomで直接対応(予約不要)。質問メール24時間受付。LINEオープンチャットで匿名質問も可能。合格者チューターが校舎常駐し自習室も全国22直営校で無料利用可能。フルコミットの延長保証制度もある。ただし通信専用のオンラインサポート(LINE直問・専用チューター等)はLECやクレアールと比較して限定的
総合	73/100	累計10,397名・合格率80.5%(条件付き)という業界屈指の合格実績と、全国22校の校舎ネットワーク・充実した答練体制(約90回+全国公開模試4回)が強み。一方で620K〜850K+入会金10Kという高額な受講料に対し給付金対象外という点が大きなマイナス。通学メインの受験生には適するが、通信講座のコスバ・サポートを重視する場合はLECやクレアールが有利

7位: 資格試験のFIN (総合 68点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	16/20	Web通信のみの提供で、映像講義は無期限・回数無制限で視聴可能。講義データをPC・タブレットに保存してオフライン環境でも受講できる。フルカラーA4のオリジナルテキストは「ALL in ONE」設計で過去問・会計基準・法令をテキストに統合。上級用計算問題集のほぼ全問に解説動画が付属。一定の教材水準を満たしているが、スマホアプリやAI機能は未搭載で上位校との差がある
(2) 学習カリキュラム	15/20	総合本科入門・短答対策入門・総合本科上級・短答対策上級・論文対策の5コース構成。理論対策メール配信(4科目)が総合本科・論文対策コースに含まれる。短答答練(各科目5回分×2〜3セット)と論文答練(各科目5回分)を提供し、教材は段階的に発送され基準改訂にも追加対応する。コースの幅やオプションに制限があり受講期間の延長制度は明示されていない
(3) 受講料(コスバ)	16/20	全コース148,000円〜272,000円で、公認会計士講座としてはかなりリーズナブルな価格設定。初学者向け総合本科入門272,000円はCPA(730K)やTAC(800K)の約3分の1。講座内容に見合った価格設定で、コスバは良好。教育訓練給付金・リスクリング補助金は対象外で、合格特典や返金保証の記載もない
(4) 合格実績	8/20	合格率・合格者数ともに非公表で、公式サイトに数値データの掲載がない。講師は大手専門学校(関西校)で管理会計論・租税法を担当していた経歴を持つが、FINとしての合格実績データは確認できない
(5) サポート体制	13/20	質問はメールで原則24時間以内に回答。回数制限の記載はない。短答答練・論文答練による演習・フィードバック機会は確保されている。ただし担任制度・個別カウンセリング・自習室・オンライン質問等の付加的サポートは提供されておらず、標準的なサポート構成に留まる
総合	68/100	148K〜272Kという大手の3分の1以下の価格設定と、無期限・回数無制限の講義視聴が最大の強み。ALL in ONEテキストやオフライン学習対応など独自の教材設計も評価できる。ただし合格実績が非公表でサポート体制が標準的な水準に留まるため、自走力のある受験経験者向けの講座といえる

8位: ICOライセンススクール (総合 64点/100点)

評価項目	スコア	評価根拠
(1) 教材・講義の質	13/20	通学+Zoomのハイブリッド型で、自宅学習はDVD/音声ダウンロード講義+テキスト+ノート作成が中心。YouTube講義動画とPDFテキスト/ノートの提供もあるが、大手予備校やオンライン特化校と比較すると教材の種類・量は限定的。体系的なeラーニングシステムやスマホアプリは未搭載。講師は公認会計士・井ノ川博行氏(1982年合格、講師歴35年超)1名体制で、個別指導内での解説が教材を補完している
(2) 学習カリキュラム	13/20	科目単科受講方式を採用し、インプット講座(ゼロコース〜VII)とアウトプット講座(個別論点トレーニング・アタックコース等)を組み合わせる。入学前の無料カウンセリングで個別カリキュラムを作成するため、受講生ごとに最適化された学習プランが提供される。ノート添削も組み込まれている。ただし理論科目(監査論・企業法等)は自力学習が原則で、本科生としての一括コースはない
(3) 受講料(コスバ)	9/20	月額44,000円(税込)/1科目で年間528,000円以上。複数科目を並行受講する場合は年間100万円を超える可能性がある。割引・キャンペーンの記載はなく、教育訓練給付金・リスクリング補助金も対象外。15分を超える質問は別途有料。週90分×月4回の完全1対1個別指導の対価としては一定の合理性があるが、絶対額の負担は全8社中で最も大きい
(4) 合格実績	11/20	合格率は非公表だが、公式サイトに合格者の声(6名掲載されている(実名・年齢・写真付き)。監査法人トーマツ・新日本有限責任監査法人への就職者を輩出した実績がある。1989年創立から35年以上の運営実績は長期にわたる合格者輩出を間接的に裏付けるが、母数(受講生数)や合格率の定量データは公開されていない
(5) サポート体制	18/20	公認会計士・井ノ川博行氏が週1回90分(答案練習60分+指導30分)の完全1対1個別指導を実施。入学前の無料カウンセリングでオーダーメイドのカリキュラムを作成し、毎回の指導で偏差値分析に基づくアドバイスとノート添削を行う。学習コンサルティングは無制限で、受講生9名程度の少人数制により個々への対応が極めて手厚い。Zoom対応で遠方からも受講可能
総合	64/100	公認会計士による完全1対1の個別指導という他校にはない独自のサポート形態が最大の強み。少人数制ゆえの手厚いケアと35年の運営実績は一定の信頼性がある。一方で月額44,000円/科目の受講料は全校中最高水準であり、教材・カリキュラムの充実度は大手予備校に及ばない。個別指導型の学習スタイルを求める受験生に限定された選択肢

6. 各評価項目の講座間比較サマリー

(1) 教材・講義の質 トップ3

1. CPA会計学院 / スタディング (各19点) - CPA: 論点別重要度 (A/B/C) 付きオリジナルテキスト+Webテキスト一括検索+メモ・付箋機能。AI未搭載で19点。スタディング: AI機能4種搭載のスマホ特化設計だが冊子版テキスト別売で19点
2. クレアール (18点) - 30分コマ設計+テキスト製本+PDF標準装備。非常識合格法に基づく効率的教材設計で高水準
3. TAC / 資格の大原 / LEC (各17点) - 大手予備校として講義・テキスト・デジタル対応を高水準で提供。AI機能は未搭載

(2) 学習カリキュラム トップ3

1. CPA会計学院 (19点) - 初学者8+経験者7コース+修了考査、3受講形態、延長制度、スクーリング。通学ベース設計のため19点
2. クレアール (18点) - 1.5年~5年のセーフティコースで最大7回短答受験保証。全答案添削返却、簿記レベル別設計。AI進捗管理・スクーリング未提供のため18点
3. TAC / 資格の大原 / LEC / スタディング (各17点) - TAC: 豊富なコース+延長保証+スクーリング。大原: Wチャンス無料進級。LEC: 段階購入方式。スタディング: AI個別カリキュラム
4. 資格試験のFIN (15点) - 5コース+答練+理論対策メール配信。コースの幅やオプションに制限あり

(3) 受講料 (コスパ) トップ3

1. スタディング (19点) - キャンペーン79,840円~は公認会計士講座で最安。合格お祝い金30,000円で実質約50,000円
2. クレアール / 資格試験のFIN (各16点) - クレアール: キャンペーンで300,000円台+給付金対象+特待生最大70%OFF。FIN: 148,000円~272,000円で大手の3分の1以下
3. CPA会計学院 / LEC東京リーガルマインド (各14点) - CPA: 大手標準730K台+奨学生制度で25K開始。LEC: 段階購入で最安348,000円+30%割引+合格お祝い金50,000円

(4) 合格実績 トップ3

1. CPA会計学院 (20点) - 合格者占有率66.7% (1,092名/1,636名)。全国1~5位独占。算出方法を明示した最高水準の透明性
2. TAC (16点) - 累計10,397名・合格率80.5% (条件付き)。成績上位者を多数輩出。合格者数313名 (2025年)
3. 資格の大原 (15点) - 合格者数247名 (2024年)/181名 (2025年)。算出方法を定義した上での公表で透明性あり

(5) サポート体制 トップ3

1. CPA会計学院 / クレアール (各20点) - CPA: 質問無制限4チャンネル+チューター+全国自習室網+キャリア支援。クレアール: 質問無制限+担任3名+全添削+HDI三つ星
2. LEC東京リーガルマインド / スタディング / ICOライセンススクール (各18点) - LEC: 24h無制限質問+LINE直問+個別相談。スタディング: Q&A50枚+4種AI機能で補完。ICO: 公認会計士による完全1対1個別指導 (週90分)
3. 資格の大原 (17点) - 常勤講師対応+全国自習室無料+Wチャンス不合格保証+映像通学切替

7. 免責事項

- 本ガイドラインに記載の情報は、各社公式サイトに掲載された2026年3月時点の情報に基づいています
- 受講料・キャンペーン内容・コース構成は予告なく変更される場合があります。最新情報は各社公式サイトでご確認ください
- 合格実績の算出方法は各社で異なるため、単純な数値の横比較には注意が必要です
- 教育訓練給付金・リスクリング補助金の適用には所定の条件があります。詳細はハローワークまたは各社公式サイトでご確認ください
- 本評価は当編集部の独自基準によるものであり、講座の優劣を絶対的に保証するものではありません